

市制90周年記念

アウトライン西宮

市の概要や見どころを紹介



市制90周年記念 アウトライン西宮

発行・企画／西宮市政策局市長室広報課
〈ホームページアドレス〉<http://www.nishi.or.jp/>
発行日／平成27年(2015年)3月
制作・印刷／株式会社 小西印刷所

再生紙を使用しています

西宮市は、古くは、廣田神社・西宮神社などの門前町、宿場町として栄え、江戸時代には宮水を使った酒造りが盛んになりました。明治末期から住宅開発が進み、阪神間モダニズム芸術文化の中心地になりました。

昭和38年に「文教住宅都市宣言」を行い、それから50余年にわたり、その誇り高い都市ブランドを基調としたまちづくりを進めてきました。

山・川・海の自然に恵まれた環境、交通の至便さ、美しく閑静な街なみ、上質な文化風土、多くの大学・短期大学を有する恵まれた教育環境は、わがまちの誇るべき財産です。近年では、県立芸術文化センターや有名な洋菓子店なども、街の新しい魅力になっています。このような多彩な魅力は、市内外から「関西で住みたい街」として高く評価されているところです。

本市は今年、市制施行から90周年の節目を迎えます。10年後の市制施行100周年に向けて、これまで以上に質の高い福祉や教育、観光・文化施策などに取り組み、「文教住宅都市」のブランドをさらに発展させていきます。

このアウトライン西宮は、本市の特色や魅力を多分に集め紹介したものです。同冊子をご覧になり、より多くの方が本市に興味をもち、訪れてみたい、住んでみたいと感じていただければ幸いです。



西宮市長

今村 岳司

目次

3	暮らす
7	癒し
11	伝統・文化
15	みどころMAP ーイベントカレンダーー
17	特集 「西宮のあゆみ」
23	特集 「阪神・淡路大震災 あの日から20年」
27	オリジナル西宮施策
29	平成27年度の主な取り組みと予算
30	D A T Aで見る西宮



阪急電車・阪神電車・JRが市内を走り、交通至便



昭和33年に多くの大学が立地する上ヶ原地区が、全国で2番目に「文教地区」に指定



「関西で住みたい街」の上位に選ばれ、子育て世帯からの支持も厚い。子供たちの元気な声が響く子育て総合センター



国の都市景観大賞に輝いた甲陽園目神山地区のまちなみ



市の都市景観賞を受賞している東山台地区のまちなみ

西宮市は、昭和38年に行った「文教住宅都市宣言」を基本理念として、まちづくりを進めています。神戸・大阪の中間に位置し、交通の利便性の良さと、自然にも恵まれ暮らしやすい良好な住宅環境、多くの大学・短期大学を有するなど恵まれた教育環境は西宮の自慢です。

また、西宮市はアメニティ豊かなまちでもあります。有名な阪神甲子園球場や西宮神社、桜の名所である夙川公園などのスポットは全国の皆さんから親しまれています。

近年では、芸術文化の発信拠点となる県立芸術文化センターや大型商業施設などもオープンし、市内外から多くの人が訪れにぎわいをみせています。

live a life

暮らす

にぎわう西宮



01

01 福男選びでおなじみの西宮神社は全国のえびす神社の総本社 02 阪神タイガースのホームグラウンドであり高校野球の聖地、阪神甲子園球場 03 冬には美しいイルミネーションでまちを彩る県立芸術文化センター 04 市内外からの買い物客でにぎわう阪急西宮ガーデンズ 05 毎年たくさんの市民が参加するにしのみや市民祭り 06 西宮はスイーツのまち。市内有名洋菓子店のパティシエらがスイーツをコース形式でふるまう洋菓子園遊会



02



03



04



05



06

癒し

山・川・海。市街地から少し足をのばせば、豊かな自然が四季折々の表情を見せ、わたしたちに安らぎとuringおいを与えてくれます。この美しい自然を守るため、西宮市は平成15年に全国初の環境学習都市を宣言しました。市民・事業者・行政が力を合わせ、西宮の貴重な環境を次世代に引き継いでいきます。



標高309mの甲山。おわんを伏せた形で市民に親しまれる西宮市のシンボル



01 阪神間に唯一残された自然の砂浜・干潟・磯がある甲子園浜。渡り鳥も飛来する 02 尼崎市との市境を流れる武庫川。河川敷には季節ごとの花が咲く 03 里山や棚田、古民家など、日本の原風景を残す船坂地区。芸術の祭典「西宮船坂ビエンナーレ」が隔年秋に開催される 04 日本有数の規模を誇る新西宮ヨットハーバー。最大700隻が係留される



春の花、秋の紅葉

西宮に春の訪れを告げる甲東梅林の梅の花と、武庫川河川敷に咲く菜の花。春本番を迎えたころ、日本さくら名所100選にも選ばれている夙川公園ではソメイヨシノなど約1660本が咲き誇ります。桜吹雪の後には、仁川百合町の地すべり跡に鎮魂の芝桜が見頃を迎えます。

秋には、西宮市の奥座敷 武田尾温泉は、赤・黄・橙と多彩な色の紅葉で彩られます。

市内有数の紅葉の名所 武田尾温泉



美の競演

夙川公園の桜並木は約2.8km続く



梅の香りに誘われメジロも訪れる甲東梅林



菜の花咲き乱れる武庫川河川敷



斜面を彩る仁川百合野町地すべり資料館前の芝桜



昭和初期に落成したネオ・ゴシック様式のカトリック夙川教会。遠藤周作が洗礼を受けたことで知られている

伝統・文化



西宮市には伝統産業として「西宮の酒」、「名塩紙」、「和ろうそく」などがあり、その技は時を越え今も大切に受け継がれています。

また、大正期・昭和初期には「阪神間モダニズム」と呼ばれる西洋の影響を受けた芸術・文化が花開きました。当時の美しい建築の数々も今に伝えられています。

名塩紙をすく人間国宝・谷野武信さん（撮影 T.Ystudio 森裕人）



阪神間モダニズム 建築コレクション

長い年月を経て 今なお輝き続ける名作

01 松山大学温山記念会館。愛媛県出身の実業家・新田氏の旧個人邸宅 02 関西学院大学時計台。建築家・ヴォーリズによる設計 03 旧山本家住宅。和洋折衷様式で、西洋的な門構えの中には、日本庭園や茶室を有する 04 今津六角堂。明治期に今津小学校の校舎として建てられた 05 武庫大橋。照明灯や欄干など細部にも装飾が施されている 06 神戸女学院ソールチャペル。建築家・ヴォーリズによる設計 07 武庫川女子大学甲子園会館。阪神間における高級社交場としてにぎわった旧甲子園ホテル



traditional culture



平成25年10月1日に「西宮市清酒の普及の促進に関する条例」を施行

継承される文化

古き良き伝統が息づくまち西宮
どんなに時代が進んでも大切に守っていききたい



宮水で造る酒

西宮は灘の生一本の生産地として知られる灘五郷のうち西宮郷と今津郷を有し、全国に名高い酒どころです。西宮の酒造りは江戸時代、酒造りに適した「宮水」の発見（天保11年・1840年）や樽廻船の航行により、飛躍的に発展しました。

重要無形文化財 名塩雁皮紙

名塩紙は、江戸時代から伝わる伝統的な和紙。原料の雁皮（がんぴ）に泥土を混ぜて漉（す）くことで、日焼けせず、長期保存に耐える特徴があります。平成5年に兵庫県伝統的工芸品、14年には国の重要無形文化財に指定されました。

県内唯一の和ろうそく工房

江戸時代に最盛期を迎えた和ろうそくは、現在では県下に市内の1軒を残すのみとなりました。しかし、近年ではインテリアとしての新たな価値が見出され、広く親しまれる存在となっています。平成7年に兵庫県伝統的工芸品に指定。

人形操り発祥の地

西宮神社周辺には、室町時代から傀儡子（くぐつし）といわれる人形操りが住んでいました。彼らはえびす信仰を広めるために、戎舞などの人形芝居をしながら全国各地を巡りました。淡路の人形浄瑠璃や大阪の文楽の発展に影響を与えたことから、西宮は人形操り発祥の地と言われています。

イベントカレンダー



越水浄水場の桜の通り抜け



フラワーフェスティバル

6 ●人形劇まつり

7 ●西宮市展
●原爆展

8 ●全国高校野球選手権大会
●イタリア・ポローニャ国際絵本原画展
●平和灯ろう流し



野外アートフェスティバル



にしのみや市民祭り

12 ●甲子園ボウル
●大学交流祭
●大学の光のイベント

1 ●1.17ひょうごメモリアルウォーク
●十日えびず(西宮神社)
●厄除け大祭(門戸厄神)

2 ●甲東梅林の梅びらき
●国際交流デー
●蔵開

3 ●選抜高校野球大会
●椿まつり(越木岩神社)

4 ●さくら祭
●つつじまつり(廣田神社)
●越水浄水場の桜の通り抜け

5 ●フラワーフェスティバル
●融通観音大祭(神呪寺)



人形劇まつり



イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

9 ●西宮新能(越木岩神社)

10 ●酒くらルネサンスと食フェア
●公智神社秋まつり
●野外アートフェスティバル
●市民文化祭 ●にしのみや市民祭り
●洋菓子園遊会

11 ●市民音楽祭
●西宮国際ハーフマラソン



厄除け大祭



蔵開



公智神社



北山緑化植物園



廣田神社



御前浜(香櫨園浜)



西宮市貝類館



堀江オルゴール博物館



ひょうご西宮アイスアリーナ



みどころ Map

恵まれた自然や歴史、
優れた都市環境をはじめ、
四季折々さまざまなイベントなど
西宮は見所がいっぱいです。
ここでは、
西宮の代表的な観光ス
ポットやイ
ベントを紹
介します。



西宮市観光キャラクター
みやたん



武庫川サイクリングロード



今津灯台



リゾ鳴尾浜



大正末期の札場筋



買い物客でにぎわう昭和初期の西宮公設市場



市制施行当日のまちの様子



空襲で焼け野原になった西宮神社周辺



阪神大水害で浸水した市役所周辺



昭和初期発行の鳴尾いちご狩りのチラシ
(浅田柳一氏資料)

大正14年4月1日に市制が施行され、西宮市が誕生しました。当時は総面積約5^{キロ}平方メートル、人口約3万4000人の小さな市でした。それ以降、戦後復興や文教住宅都市の宣言、阪神・淡路大震災からの復興、中核市への移行など、時代とともにさまざまな歴史を刻み、現在、人口約48万人の大きな都市へと発展しました。

市制90年を迎える今、先人達が歩んだ軌跡を写真と年表で振り返ります。



阪神間モダニズムを感じさせる旧市庁舎（昭和3年頃）

西宮の あゆみ

90years



昭和46年に完成した現在の市庁舎

昭和										大正		
21年	20年	17年	16年	13年	12年	9年	8年	4年	3年	2年	15年	14年
西宮球場で第1回国民体育大会の開会式が行われる	阪神大空襲 太平洋戦争が終結	瓦木村を合併	甲東村を合併 太平洋戦争が始まる	阪神大水害で8400戸が浸水	西宮球場が開場 夙川公園ができる	省線電車(現・JR)甲子園口駅が開業 室戸台風が襲来	今津町、芝村、大社村を合併 神戸女学院が神戸から移転	関西学院が神戸から移転 世界恐慌が起こる	市立図書館が開館 旧市庁舎が開庁	阪神電鉄国道線が開通	市章制定 西宮北口駅〜今津駅間が開通し、 阪急今津線が全通 国道2号が開通	西宮町が市制施行



昭和40年ごろの甲子園口駅



阪神高速建設時の様子



大正15年から昭和59年まで続いた
阪急西宮北口駅の平面軌道交差(ダイヤモンドクロス)



昭和50年まで国道2号の上を走っていた阪神電鉄国道線



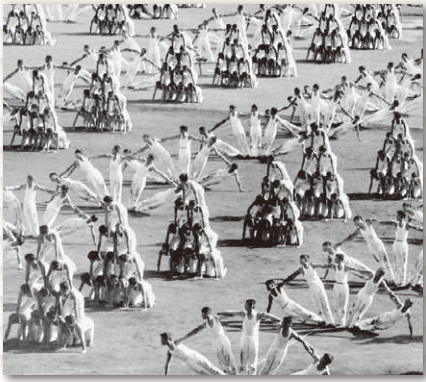
海水浴客でにぎわう香櫨園浜



国道43号開通式パレード



西宮港からヨットで太平洋横断に成功した堀江氏(写真左)



甲子園球場で行われた中学校連合体育大会



戦後復興のために行われていた十日えびすの戎くじ



昭和30年代の縁日で子供たちに人気だった輪投げ



昭和36年に甲子園阪神パークで誕生した
ヒョウとライオンの雑種・レオポン(提供 阪神電鉄)



昭和30年頃の西宮港

58年	57年	56年	53年	52年	50年	48年	47年	46年	45年	44年	40年	39年	38年	37年	36年	34年	33年	32年	28年	26年	25年	24年	
平和非核都市を宣言 連続テレビ小説「おしん」が大ヒット	北山緑化植物園がオープン	阪神高速の大阪〜西宮間が開通 鹿児島県名瀬市(現奄美市)と友好都市提携	甲子園浜の干潟を鳥獣保護区に指定	ブラジルのロンドリーナ市と 友好協力都市提携	現中央病院が開館 阪神電鉄国道線と甲子園線を廃止 中国自動車道の吹田〜落合間が開通	第1回にのみや市民祭りを開催	沖縄返還 西宮市大谷記念美術館が開館	新市庁舎が開庁	日本万国博覧会開催	阪神高速の西宮〜神戸間が開通 市民憲章と市旗を制定	アポロ11号が月面に着陸 甲子園・香櫨園海水浴場を閉鎖	名神高速道路の西宮〜尼崎間が開通 東京オリンピック開催	国道43号が開通 文教住宅都市を宣言	安全都市を宣言 堀江謙一氏 ヨット単独太平洋横断	アメリカのスポーケン市と姉妹都市提携 第2室戸台風が襲来 市民文化賞を制定	皇太子殿下・美智子様ご成婚	上ヶ原が全国で2番目の文教地区に指定 東京タワー完成	第1回小学校連合体育大会を開催	テレビ放送開始	鳴尾村、山口村、塩瀬村を合併 第1回中学校連合体育大会を開催	ジェーン台風が襲来	湯川秀樹氏 ノーベル賞受賞	第1回西宮競輪が開催



市内南北を結ぶさくらやまなみバス



平成18年ののじぎく国体では
新西宮ヨットハーバーがセーリングの会場に



浜風を感じる西宮浜総合グラウンド



昭和55年から平成14年は阪急西宮スタジアムで行われていたにしのみや市民祭り



さくら夙川駅が開業



阪急西宮スタジアムにバンクを特設し
開催されていた西宮競輪



震災の被災者であふれる中央体育館を
激励に訪れた天皇・皇后両陛下



平成10年まで行われていた寒冷な気候を生かした
船坂の寒天づくり



JR西宮名塩駅から住宅街へ続く
高低差約60mの斜高エレベーター



市内の海水浴場閉鎖後、たくさんの人でにぎわった厚生年金プール



戦前の開業から半世紀以上市民に親しまれた
甲子園阪神パーク



震災前はアーケードがついていた中央商店街

60年	中国の紹興市と友好都市提携 教育文化センター（中央図書館・郷土資料館・市民ギャラリー）を開設 阪神タイガース優勝
61年	国鉄（現・JR）西宮名塩駅が開業
62年	バブル景気にわく
平成	
元年	名塩小学校に名塩和紙学習館が完成
2年	塩瀬センターを開設
3年	高知県梼原町と友好交流提携 西宮北有料道路（盤滝トンネル）が開通 名塩ニュータウンまちびらき バブル景気崩壊
4年	フランスのロット・エ・ガロンヌ県およびアジャン市と友好都市提携
6年	阪神高速5号湾岸線が開通
7年	阪神・淡路大震災
10年	西宮マリナパークシティ（西宮浜）まちびらき
11年	西宮市貝類館を開館
13年	アクタ西宮を開業 子育て総合センター 「のびのびおおぞら館」を開設
14年	西宮・甲子園競輪場が終了 阪急西宮スタジアムが閉鎖 ワールドカップ日韓同時開催
15年	環境学習都市を宣言
17年	県立芸術文化センターが開設
19年	JRさくら夙川駅が開業
20年	市内の山手幹線が全通 中核市に移行 西宮浜総合グラウンドがオープン
21年	山口センターを開設 さくらやまなみバスが運行開始
23年	東日本大震災
25年	ひょうご西宮アイスアリーナがオープン

阪神・淡路大震災 あの日から20年



平成7年1月17日午前5時46分、阪神・淡路大震災は、長年にわたって築き上げてきた西宮に大きな打撃を与え、多くの尊い人命と貴重な財産を奪いました。
あの日から20年。懸命な復興への取り組みにより、ハード面ではほぼ復興を成し遂げました。
私たちは震災の記憶を風化させることなく、震災で得た貴重な教訓を後世に伝えていきます。

地震の概要

- 発生日時 平成7年1月17日午前5時46分
- 地震の規模 マグニチュード7・3（平成13年気象庁修正）
震度7（激震）
- 震源地 淡路島北部（東経135度02分、北緯34度36分）

主な被害状況

- 死亡者 1146人
（震災関連死と市外で死亡した市民12人を含む）
- 負傷者 6386人
- 倒壊家屋 6万1238世帯
（全壊：3万4136世帯、半壊：2万7102世帯）
- 避難所 最大時194カ所（平成7年1月20日）
避難者 最大時4万4351人（平成7年1月19日）
41件
- 水道 15万4100世帯で断水
（平成7年2月28日応急復旧工事完了）
- 火災 17万6000軒で停電
（平成7年1月23日応急送電完了）
- ガス 17万2500戸のうち17万4000戸で停止
（平成7年4月11日応急復旧完了）
- 電話 19万8000回線のうち3万4000回線で故障
（平成7年1月31日で復旧完了）

● 道路

▽ 名神高速道路：落橋その他橋脚部の被害により通行止め（平成7年7月29日全線開通）

▽ 阪神高速3号神戸線：落橋2カ所により通行止め（平成8年9月30日全線開通）

▽ 阪神高速5号湾岸線：落橋1カ所により通行止め（平成7年4月29日全線開通）

▽ 西宮北有料道路（盤滝トンネル）：2カ所の崩落等により通行止め（平成7年3月1日全線開通）

▽ 国道171号：門戸高架橋の落橋により通行止め（平成7年12月28日全線開通）

▽ 国道2号、43号、176号、中国自動車道：一部損壊（通行は可能）

▽ 新幹線：高架橋延長1.5kmの60%の損傷等により不通（平成7年4月8日全線開通）

▽ JR在来線：橋梁（りょう）10カ所損傷等により不通（平成7年4月1日全線開通）

▽ 阪急神戸線：高架橋部分多数倒壊等により不通（平成7年6月12日全線開通）

▽ 阪急今津線：高架橋部分18本損傷等により不通（平成7年2月5日全線開通）

▽ 阪急甲陽線：線路陥没等により不通（平成7年3月1日全線開通）

▽ 阪神本線：西宮駅変電所全壊、鉄柱・電線など多数損傷等により不通（平成7年6月26日全線開通）

▽ 市役所：6階～8階が使用不能

▽ 学校園：小学校42校、中学校19校、高校3校、養護学校1校、幼稚園22園が被災

▽ その他：市民会館、勤労会館、中央体育館、中央病院などが大きな被害を受ける

▽ 市内の各所から火の手が上がった地震発生直後

02 駅前のビルも倒壊

03 高速道路が崩壊するも落下を免れたバス

04 震度7の激震で倒壊した民家

05 水を求め破裂した水道管にも行列ができた

06 多数の市民が不安な夜を過ごした避難所

07 山陽新幹線の橋脚も崩壊した

08 道路も大きな被害を受け往來を妨げた

震災から得た教訓を生かして



学校耐震化

震災により市内の全ての学校園が施設や備品等に被害を受け、小・中学校12校などが校舎の一部等の建て替えや補強を余儀なくされました。
市は、学校耐震化を進めており、平成27年度中には、市内全てで耐震化が完了する予定です。



自主防災組織

「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に地域住民が協力・連携し災害に備える組織。
震災前は市内全世帯の22.8%、31団体の規模でしたが、平成26年4月1日現在では90.7%、188団体となり、団体数は約6倍以上に増えました。



防災教育

震災を経験したまちとして、学校では積極的な防災教育が行われています。
これまでの災害教訓を知り、適切な避難や対応ができるよう、また災害時には進んで地域の安全に役立てるよう学んでいます。

南海トラフ巨大地震に備えて



市では、近い将来発生することが予想される南海トラフ巨大地震に備えて、平成25年1月27日に全市民を対象とした「にしのみや津波避難訓練」を実施し、延べ4万6300人の市民が参加しました。
また、食糧・生活用品の備蓄や避難誘導サインの整備、JR神戸線以南における「津波避難ビル」の指定などに取り組んでいます。
さらに多数の企業や他の市町村と「災害時応援協定」を締結するなど、災害対策をより一層進めています。



森具地区



北口本通り



復興を遂げたまち



震災で大きな被害を受けた西宮北口駅周辺地区と森具地区。北口地区では地域関係者らが主体となって復興に向けた協議が重ねられ、震災から6年後に北口本通りの跡地に「アクタ西宮」が誕生しました。森具地区では広い道路で囲まれた防災拠点街区が形成され、地区の中央には防災公園が整備されました。

阪神高速



市立西宮高校



高速道路や鉄道の橋脚は崩壊し、交通網はまひしましたが、わずか1年半後には全ての交通機関が復旧しました。



一部が陥没し、いびつに歪んだ校舎。2年後には耐震機能を備えた新校舎が完成しました。



インターカレッジ西宮

大学のまち西宮の特色を生かし、市民を対象に、市内大学・短期大学の教員が講師となりさまざまなテーマで講義を行う。平成26年度は10講座を実施した。



アスレチック・リエゾン・西宮

市とゆかりのあるトップアスリートやスポーツ団体などがメンバーとなり、体験教室などアスリートならではの事業を実施し、スポーツを通じたまちづくりを進める異競技連携組織。会長は北京五輪陸上銅メダリスト・朝原宣治さん。



小学校連合体育大会・中学校連合体育大会

阪神甲子園球場で市内各地の児童・生徒が一同に会して行われる体育大会。小連体は昭和32年から、中連体は26年から開催されており、宮っ子みんなの思い出。

オリジナル 西宮施策

西宮市独自の施策や、ちょっぴり自慢の施策の一部を紹介します。



エコカード・エコスタンプシステム

市民が地球にやさしい活動を行うことで、「エコカード」や「市民活動カード」にエコスタンプを押してもらえ。スタンプを押してもらう人と押す人、双方の環境への気づきを促進し、持続可能なまちづくりを目指す仕組み。



オリジナルフラワーの開発

植物バイオテクノロジーを活用し、西宮の環境に合った植物の研究・開発を行う。「エンジェルズ・イヤリング」など西宮市オリジナルフラワーが誕生。



宮水ジュニア

子供たちが土曜日の午前を中心にさまざまな文化的な講座を受講。地域の専門的な知識や技術を持つ人々がボランティア講師を務める。子供たちの異年齢交流を図ることも目的のひとつ。



名塩和紙卒業証書

市の伝統工芸である「名塩紙」に親しんできた名塩・生瀬・東山台小の6年生は、自らの手で和紙を漉(す)いて卒業証書を作成。



西宮湯川記念事業

湯川秀樹博士が本市在住時に、日本人初のノーベル賞受賞の対象となった「中間子論」を提唱したことにちなみ、科学セミナーやこども科学教室、若手理論物理研究者の登竜門とされる「西宮湯川記念賞」の贈呈などを実施。



ドクターカー

重症患者等が発生した際、現場に急行する救急車とは別に、医療機関等を経由し医師を乗せた救急車も現場に向かい、救急現場から治療を行う。



「こども未来センター」完成イメージ図

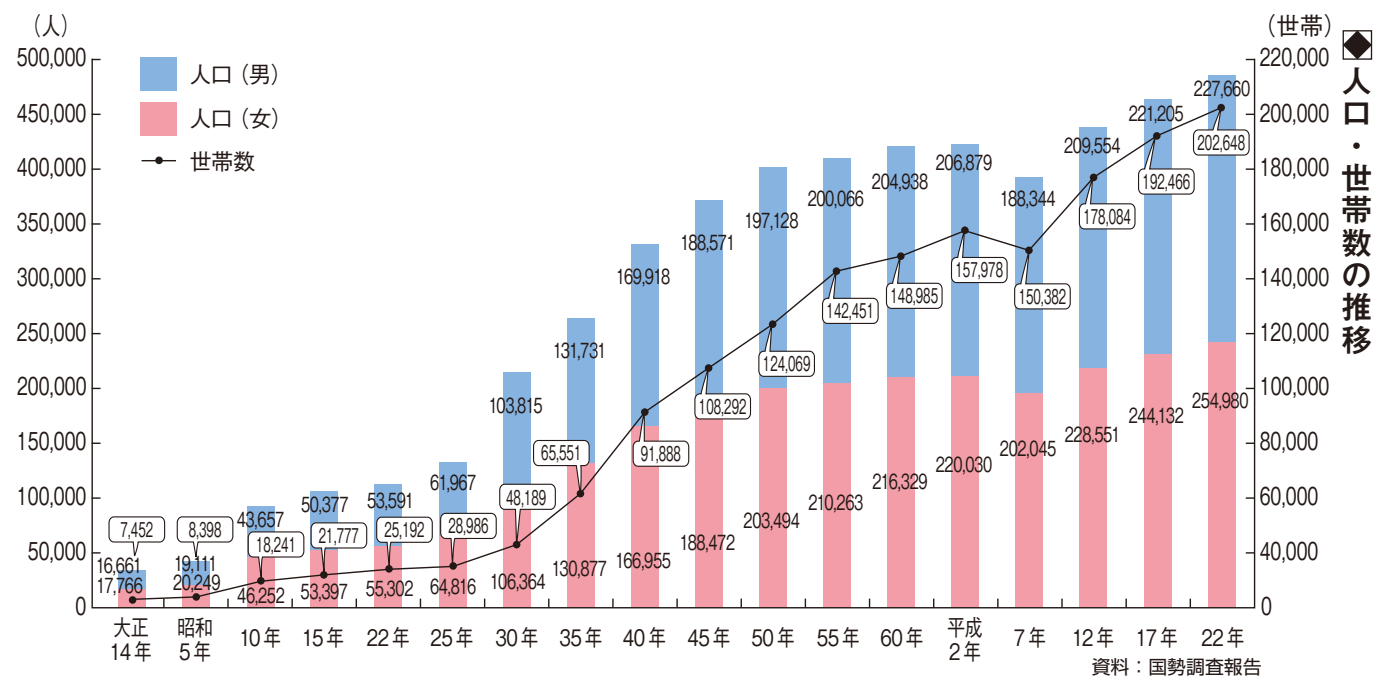
「こども未来センター」の開設

西宮市立わかば園と西宮市スクーリングサポートセンターを移転・複合化し、従来の福祉・教育の垣根を越え、さまざまな課題のある子供たちに対し、切れ目のない一貫した支援を行う「こども未来センター」を平成27年9月に開設予定。

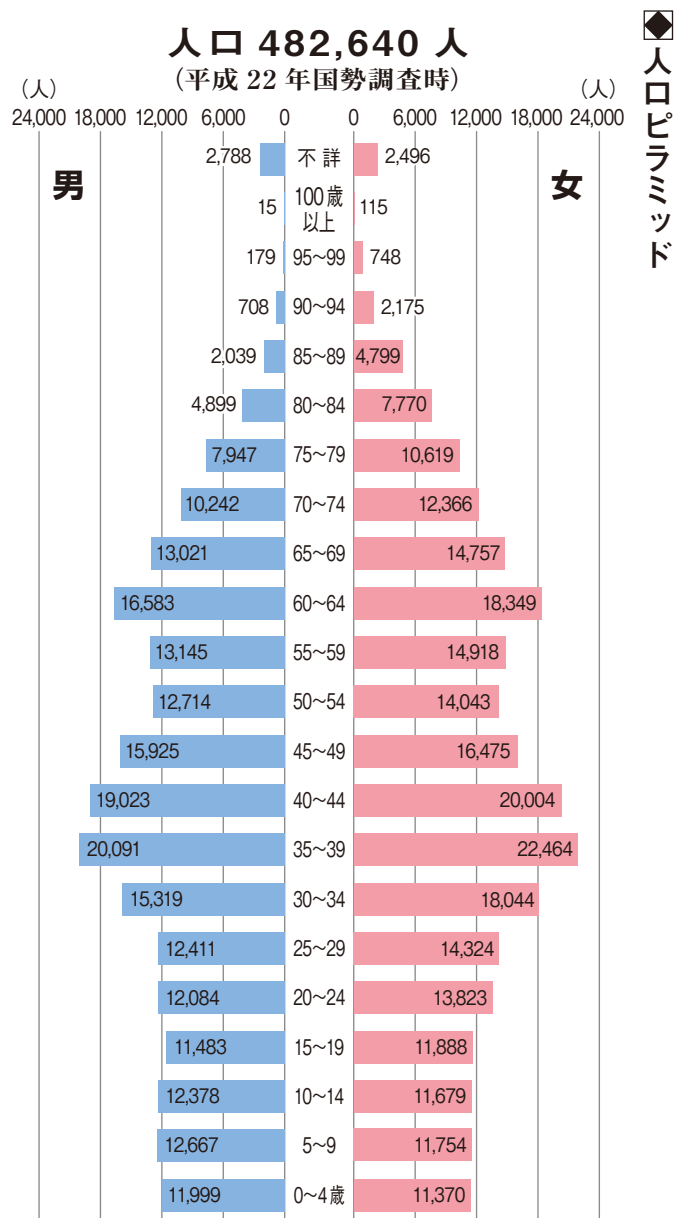
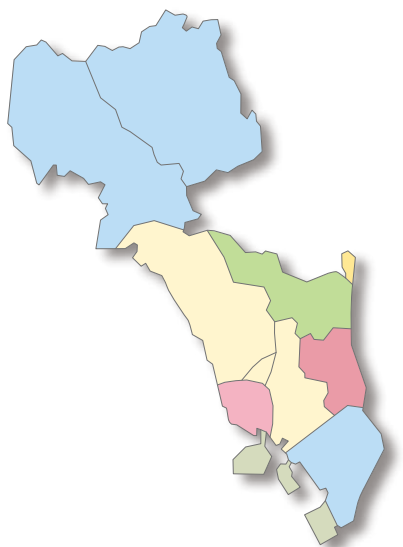


小・中学校給食

西宮の学校給食の歴史は古く、小学校は昭和27年から、中学校は33年から「主食・牛乳(当時は脱脂粉乳または混合乳)・おかず」の完全給食を実施している。現在も全校で自校調理を行い、毎日温かい給食を食べることができる。



年月日	経緯	総面積(km ²)
大正14年4月1日	市制施行	5.06
昭和8年4月1日	武庫郡今津町、大社村、芝村を合併	26.91
昭和16年2月11日	武庫郡甲東村を合併	35.36
昭和17年5月5日	武庫郡瓦木村を合併	40.53
昭和26年4月1日	武庫郡鳴尾村、有馬郡塩瀬村、山口村を合併	96.59
昭和44年4月1日	市域再測定による面積減 西宮市平左衛門町と尼崎市西昆陽字田近野との交換による境界変更	96.48
昭和49年2月22日 平成10年1月20日	公有水面埋立	100.18



平成27年度の主な取り組みと予算

本市は、マスタープランである「第4次西宮市総合計画」（平成21年度～30年度）に基づき、誰もが安心して暮らせる持続可能なまちづくりに取り組んでいます。人口増加に伴う行政需要や災害への備え、公共施設の適正な整備・更新、多様化する市民ニーズへの対応など行政課題が山積するなか、27年度は、特に重要課題となっている子育て、医療・福祉、防災に重点を置いた取り組みを推進します。

子供の健全な育ちと学びをサポート

- 民間保育所、小規模保育施設の整備などにより保育所待機児童を解消
- 障害のある児童の入所する保育所における保育士の増員配置
- 子育てひろば（親子の居場所）の拡充
- 私立幼稚園就園奨励助成金や就学前児童の乳幼児等医療費助成制度の所得制限を撤廃し、改正に伴う対象世帯への一部助成を実施
- 小学校の校庭や空き教室などを活用した、放課後の子供の居場所づくり
- 小学校の新設や校舎の耐震化、老朽化に伴う改築など学校施設の整備
- 学校給食における食物アレルギー対策のためのアレルギー情報管理システムの構築
- 学校における諸課題への対応のためスクールサポーターなどの増員



医療環境の改善と福祉の充実

- 24時間365日対応の無料電話医療相談の開設
- 阪神北広域こども急病センター（伊丹市）における小児救急医療体制の拡充
- 福祉・医療・教育が連携し切れ目のない支援を実施することでも未来センター」の開設
- 地域包括ケア体制の構築に向けて、在宅医療と介護の連携を推進する在宅療養相談支援センターの設置
- 高齢者に対する住民主体の互助活動をプロデュースする生活支援「コーディネート」の配置

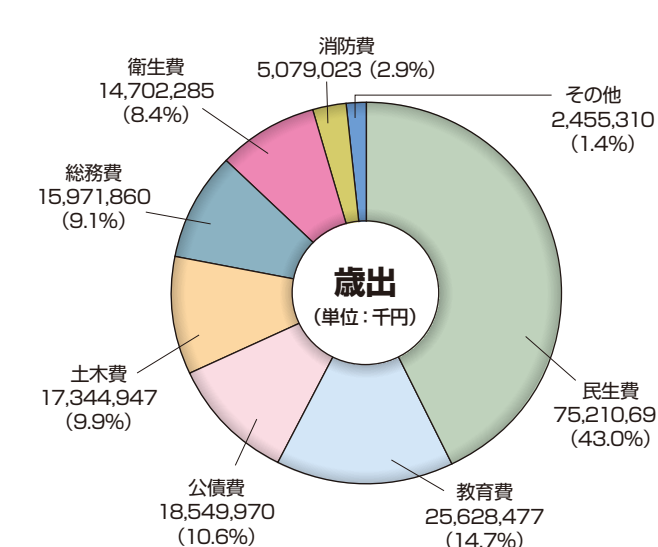
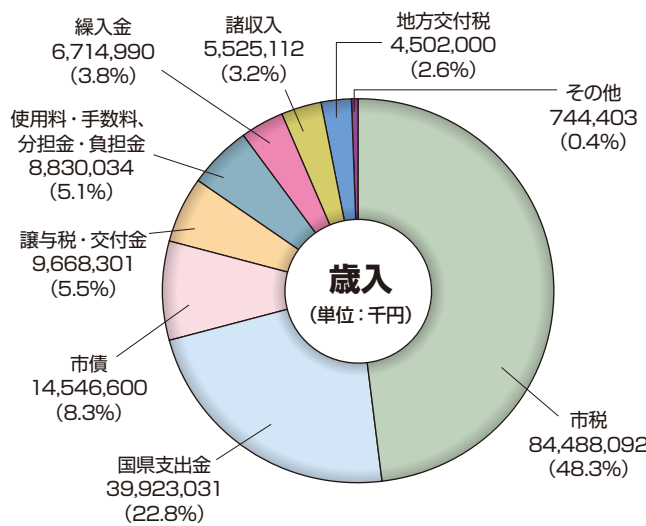
防災・減災に向けて

- 局地的な集中豪雨に対応するため、時間雨量55ミに耐える下水管や貯留施設の整備
- 非常用備蓄食料の1日分から3日分への増強と備蓄倉庫の増設
- 土砂災害警戒区域内指定避難所の安全な利用方法の検討
- 災害時要援護者支援に向けた地域共助の仕組みづくりへの支援
- 総合的な訓練や疑似体験が可能な消防訓練施設の整備に着手



一般会計予算額は、1749億4256万3千円

本市は、歳入に占める市税の割合が約50%。そのうち45%を個人市民税が占めており、比較的財政力の強い自治体です。



農業

種 別	(単位：戸)	
	平成17年	平成22年
農家数	456	423
自給的農家	234	220
販売農家	222	203
専業農家	48	55
兼業農家	174	148
経営耕地面積	116	117

資料：世界農林業センサス

農家数と経営耕地面積

本市は、農地の大部分が市街化区域のため、農業を取り巻く環境は厳しく、年々減少の傾向にあります。しかし、大阪、神戸の消費地を控えているという立地条件を生かして、野菜の栽培を中心とした高収益型農業への推進を図っています。

栽培の形態は、軟弱野菜を主幹作物として、露地栽培をはじめ施設栽培、養液栽培など土地の高度利用化を図っています。また農業の使用を控えた減農薬栽培など消費者ニーズに合った野菜と栽培技術の研究にも努めています。

産業別人口

調査年次 区 分		平成17年国勢調査		平成22年国勢調査			
		総 数	構成比※	総 数	構成比※	男	女
総 数		465,337	—	482,640	—	227,660	254,980
15 歳 以 上 人 口		393,837	—	405,509	—	187,828	217,681
就 業 者 総 数		212,374	100.0	216,076	100.0	123,325	92,751
第1次産業	農 業 ／ 林 業	698	0.3	625	0.3	433	192
	漁 業	5	0.0	7	0.0	5	2
	計	703	0.3	632	0.3	438	194
第2次産業	鉱 業 ／ 砕 石 業 ／ 砂 利 採 取 業	9	0.0	15	0.0	12	3
	建 設 業	14,005	6.6	12,026	5.6	10,261	1,765
	製 造 業	28,987	13.6	26,742	12.4	19,598	7,144
	計	43,001	20.2	38,783	17.9	29,871	8,912
第3次産業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	1,440	0.7	1,623	0.8	1,440	183
	金 融 業 ／ 保 険 業	9,104	4.3	8,908	4.1	5,079	3,829
	情 報 通 信 業	151,885	71.5	7,947	3.7	5,935	2,012
	運 輸 業 ／ 郵 便 業			12,123	5.6	9,529	2,594
	卸 売 業 ／ 小 売 業			40,144	18.6	21,132	19,012
	不 動 産 業 ／ 物 品 賃 貸 業			7,121	3.3	4,521	2,600
	学術研究／専門・技術サービス業			9,416	4.4	6,294	3,122
	宿 泊 業 ／ 飲 食 サービス 業			11,805	5.5	4,877	6,928
	生活関連サービス業／娯楽業			8,090	3.7	3,349	4,741
	教 育 ／ 学 習 支 援 業			12,831	5.9	5,203	7,628
	医 療 ／ 福 祉			23,267	10.8	6,102	17,165
	複 合 サ ー ビ ス 事 業			544	0.3	276	268
	サービス業(他に分類されないもの)			12,424	5.7	7,772	4,652
	公務(他に分類されるものを除く)			5,515	2.6	3,822	1,693
	計	162,429	76.5	161,758	74.9	85,331	76,427
分 類 不 能		6,241	2.9	14,903	6.9	7,685	7,218

※原則、四捨五入のため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない

商業

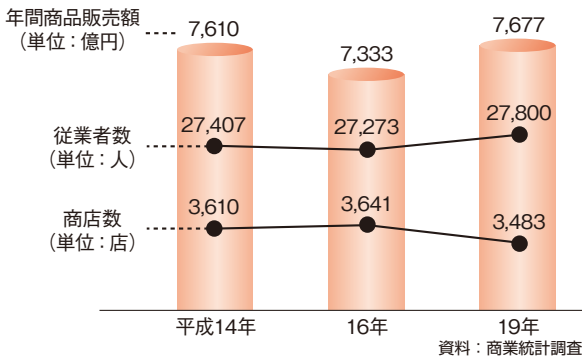
産業中分類	商店数 (単位：店)	従業者数 (単位：人)	年間商品販売額 (単位：万円)
総数	3,483	27,800	76,770,731
卸売業	579	5,188	38,574,746
繊維・衣服等	34	257	688,823
飲食料品	167	1,782	15,392,002
建築材料、鉱物・金属材料等	121	890	5,645,018
機械器具	112	965	8,439,424
その他	145	1,294	8,409,479
小売業	2,904	22,612	38,195,985
各種商品	9	1,451	3,315,773
織物・衣服・身の回り品	498	1,880	2,768,884
飲食料品	957	10,590	14,964,451
自動車・自転車	173	1,332	5,457,815
家具・じゅう器・機械器具	236	1,276	3,419,853
その他	1,031	6,083	8,269,209

商業の概要（平成19年商業統計調査）

阪急西宮北口駅の「阪急西宮方ーデンス」や阪神甲子園駅の「ららぽーと甲子園」などの主要駅周辺の大型商業施設などが、商業集積地としての大きな経済効果を生み出し、大阪・神戸への購買力流失に一定の歯止めをかけるとともに、市外からの流入をもたらしていると思われる。

また、市内各所に小売店舗が進出し、地域住民の買い物の利便性向上につながっています。

地域に密着してきた既存の商店街や小売市場は、大型店の進出などで極めて困難な状況にあります。地域の特色を生かし活性化に向けた取り組みを行っている商店街もあり、その動向が注目されています。



商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

工業

区 分	事業所数 (単位：所)	従業者数 (単位：人)	製造品出荷額等 (単位：万円)
総数	193	11,446	29,837,444
飲食料品	55	7,492	19,451,125
繊維工業品	12	158	259,497
印刷・関連連品	15	346	862,711
化学工業製品	11	587	1,209,358
窯業・土石製品	13	160	600,757
金属製品	12	215	496,670
生産用機械器具	12	258	622,397
電気機械器具	6	648	3,015,328
その他	57	1,582	3,319,601

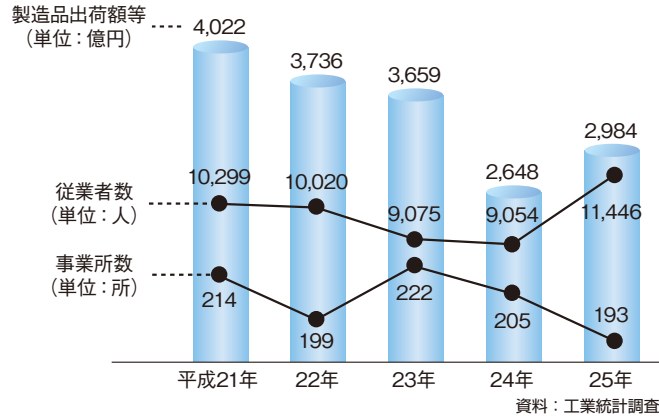
工業の概要（平成25年工業統計調査）

平成25年の市内工業の従業員数・製造品出荷額等は前年を上回りましたが、事業所数は依然減少傾向にあり、新興国の経済発展や産業・経済のグローバル化等が進む中、厳しい状況が続いています。

※表は、工業統計による従業員4人以上の事業所データによる

住工混在の解消による住環境の改善と、中小企業の実績・活性化を図るため、昭和52年度から鳴尾浜・西宮浜両埋立地への集団化移転事業を実施し、鳴尾浜に3カ所、西宮浜に2カ所の協同組合が移転しました。

製造品出荷額等は前年を上回りましたが、事業所数は依然減少傾向にあり、新興国の経済発展や産業・経済のグローバル化等が進む中、厳しい状況が続いています。



※平成23年の数値については、23年に工業統計調査が実施されなかったため、「平成24年経済センサス-活動調査」の数値を充当

事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

◆文教住宅都市宣言

西宮市は、阪神間の中央に位置し、自然の風光と温暖な気候に恵まれ、市制施行 이래、多くの人々がここに、平穏で快適な生活環境を求めて移り住み、ついに今日の隆盛をみるにいたった。その風土は、先覚者たちの文教諸施設の整備拡充の努力とあいまって、今や西宮市が文教住宅都市として力強く進むことを可能ならしめている。またその故にこそ、年々、万余を数える人口増加がみられるのである。

一方、大阪、神戸をはじめとする阪神圏諸都市は、急速な発展を示しつつあるが、同時に産業配置、人口の都市集中、公害など幾多の内部的諸矛盾の解決をせまられている。こうした事態にあつて、西宮市は、本市が誇りうる文教住宅都市的性格をさらに一層、推進することにより、こんごの阪神圏発展の一翼を担う考えである。すなわち、西宮市の将来は、西宮市民のみならず、近畿一円の福利の増進に役立つべきものであり、それはまさに、西宮市が、人々に憩いと安住の地を提供することによって、積極的に果たされるものと信じる。

ここに、西宮市は三十万市民のひとつく望むところにしたがい、風光の維持、環境の保全・浄化、文教の振興を図り、当市にふさわしい都市開発を行い、もつて市民の福祉を増進するため、西宮市を「文教住宅都市」と定め、こんごの市政運営がこの理念に基づいて強く推進されるものであることを宣言する。

昭和38年11月3日 西宮市

◆平和非核都市宣言

(昭和58年12月10日)

◆安全都市宣言から市民生活の安全の推進に関する条例へ

(平成12年4月1日)

◆環境学習都市宣言

(平成15年12月14日)

西宮市民憲章

美しい風光と豊かな伝統のまち、西宮の市民としてこの憲章を定めます。これは未来へはばたくわたしたちの合い言葉です。

その1 西宮をみどりと青空の
明るいまちにしましょう

その2 西宮を教育と文化の
かおり高いまちにしましょう

その3 西宮を心のかよった
福祉のまちにしましょう

その4 西宮を希望にみちた
産業のまちにしましょう

その5 西宮を心身ともに健やかな
しあわせのまちにしましょう

大学

西宮市内には特色ある大学・短期大学が立地し3万5000人を超える学生と多数の教員や研究者が集まっているまさに「大学のまち」です。



甲南大学

阪急西宮北口駅南の西宮キャンパスはマネジメント創造学部(CUBE)の専用キャンパス。1学年180人の少人数教育を行っている。



神戸女学院大学

キリスト教に基づく教育の伝統を受け継ぎながら、幅広い知識と教養、応用力を身につけた共感性の高い人格を育みます。



兵庫医科大学

学生教育、医学研究、先端医療の発展に努め、卒業生は日本全国で全人的医療を担う良医として医療の中核を担い、また海外でも広く活躍。



武庫川女子大学
武庫川女子大学短期大学部

社会に貢献できる自立した女性の育成を目指す学生数1万人の女子総合大学。就職・キャリア支援の体制が充実し、「資格と就職に強い大学」と評価される。

大手前大学

3つの学部を超えて28分野の学びを組み合わせる「Myカリキュラムスタイル」を展開。幅広い教養を養うとともに、就職力が身につく授業にも取り組む。



関西学院大学
関西学院聖和短期大学

キリスト教主義に基づく全人教育を行っている。幼稚園・初等部・中学部・高等部・短期大学・大学・大学院を持つ総合学園。



甲子園短期大学

「食と健康・サービスビジネス・園芸療法・医療事務」「幼児教育・保育」の分野で実践力を備えたプロフェッショナルな人材育成に注力。



友好交流

栲原町(高知県)

平成3年(1991年)3月に友好都市提携を行いました。高知県中西部の愛媛県との境にある人口約3800人、面積約237平方*のまちで、四万十川の源流や雄大な四国カルストの自然に恵まれています。また、津野山神楽をはじめとする独特の津野山文化を築き、今に伝えています。土佐勤王党の志士らが往来した「脱藩の道」も通っています。



奄美市(鹿児島県)

昭和56年(1981年)10月に旧名瀬市と友好都市提携を行いました。平成18年(2006年)3月に名瀬市が近隣町村と合併し、奄美市になったことを受け、同年8月に奄美市と友好都市提携を行いました。鹿児島県・奄美群島にある人口約4万5000人、面積約308平方*の都市で、黒糖焼酎や大島紬(つむぎ)が特産です。美しい海岸線と貴重な動植物が生息する亜熱帯ゾーンは訪れた人々を魅了します。



スポークン市(アメリカ)

昭和36年(1961年)9月に姉妹都市提携を行いました。ワシントン州にある人口約20万人、面積約150平方*の自然に恵まれた都市で、その都市名は、アメリカ先住民の言葉で「太陽の子どもたち」を意味します。市花・ライラックが咲く5月には「ライラックフェスティバル」が行われます。

ロンドリーナ市(ブラジル)

昭和52年(1977年)5月に友好協力協定を行いました。パラナ州にある人口約51万人、面積約1650平方*の都市で、約2万5000人の日系住民が暮らしています。コーヒー栽培が有名ですが、近年、工業のまちへの転換にも努めています。また、市内には大学が8校あり、緑も多く西宮とよく似た文教都市といえます。

紹興市(中国)

昭和60年(1985年)7月に友好都市提携を行いました。浙江省にある人口約440万人、面積約8256平方*の都市で、湖沼が多く運河が縦横に走り、水郷風景がのどかに広がっています。また、紡績、機械、食品などの産業が盛んです。銘酒「紹興酒」の産地であることや文豪・魯迅生誕の地としても知られています。

ロット・エ・ガロンヌ県およびアジャン市(フランス)

平成4年(1992年)4月に友好提携協定を行いました。ロット・エ・ガロンヌ県は、アキテーヌ州にある人口約32万人、面積約5400平方*の都市で、果樹・野菜栽培、プラムやフォアグラなど食品加工が盛んです。また、古城や要塞が自然と調和し、観光客を魅了します。県都アジャンはラグビーのまちでもあります。

市章

西宮の「西」の字をてん書で真ん中に表示し、その周りを「宮」を表現する片仮名の「ヤ」3つの組み合わせで取り囲んだもの。
大正15年4月制定



市旗

白地に赤と緑で「に」をデザイン。赤が太陽と幸せ、緑が六甲の自然を表し、全体として「緑と幸せのまち」を象徴。市制45周年を記念し公募。
昭和45年11月制定



市花／さくら

市制40周年記念事業の一環として、市民から公募。44種・485件の応募があり、夙川公園や満池谷など、さくらの名所が市内に多いこと、西宮の風土、気候、歴史とのつながり等を考慮し決定。
昭和40年3月制定



市の木／くすのき

緑化意識の啓発を行い、市民と市が一体となって緑化を進めていくために市民から公募。応募総数276点の4割が「くすのき」を希望し、自然環境保全審議会で決定。
昭和53年9月制定

